

健康がテーマの祭典！ 全町一日健康の集い

11月3日、シルバープラザにて全町一日健康の集い（主催：八雲町）が開催され、町内の医療福祉団体などと連携し、健康づくりをテーマとしたイベントが行われました。会場では、歯のフッ素塗布、お菓子を使った調剤体験、野菜の重量当てクイズのほか、恒例の保健推進委員による演劇「3匹の子豚」、なごや労働衛生コンサルタント事務所所長山田琢之氏による心の健康についての講演などさまざまな催しが行われ、大人も子どもも楽しみながら健康について学びました。



北海道日本ハムファイターズ田中賢介選手も登場！ 道南“スポーツ医学” スペシャルセミナー

11月20日、スポーツ医学をテーマに、八雲総合病院主催の「道南“スポーツ医学”スペシャルセミナー」が行われ、日本ハムファイターズのチームドクターリーダーで八雲総合病院整形外科医長を務める横田正司医師、北海道日本ハムファイターズ田中賢介選手による講演が行われました。横田医師は、実際に自分が診た日本ハムファイターズ選手や少年野球選手の症例、けが予防のためのトレーニング方法などスポーツ医学について語りました。また、田中選手は、球団・野球秘話やメジャーリーグ挑戦などについて語り、「野球を上達するために、上手い人との差を見つけ目標設定し、練習の仕方の工夫をする。結果の確認も必要」と自身の野球論について語り、野球少年団の選手など来場者は田中選手の話に聞き入っていました。



地域の環境美化に協力！ 檜山地区郵便局長会中堅若手会 によるクリーンアップ作戦！

10月15日、八雲町をはじめ、道南11町で構成されている檜山地区郵便局長会の45歳以下で構成された中堅若手会のメンバー17人による「クリーンアップ作戦」が行われ、熊石見日地区から熊石黒岩地区のゴミ拾いボランティアを行いました。国道付近を約2kmにわたって、空き缶や空き瓶、ペットボトル等を回収し、回収したゴミ袋は約100キロになりました。参加した熊石郵便局の棚田局長は、「今後もこうした形で地域に恩返しをしていきたい」と話していました。



胸に刻もう「津波てんでんこ」の教訓を！ 消防庁災害10年プロジェクト熊石中学校防災講演会

10月16日、熊石中学校で、陸前高田市で震災を経験し、約5カ月間にわたって避難所の運営にあたった災害語り部の小松三生氏を招いて、防災講演会が開催され、生徒や教員ら約50名が被災地からの声に聴き入りました。講演では、震災が発生して避難誘導にあたった人達がことごとく被災していることから、自分の身は自分で守る「津波てんでんこ」をしっかり胸に刻んでほしいと語りかけるとともに、食料、水道、電気、燃料など何もかもが不足する中で、避難所を運営してきた苦労や体験談を交えながら、常日頃から災害時の備えをすることや地域のつながりの重要性を訴えました。

